

## 目 次

		ページ
<b>SKYLIGHT</b> 〈今月の焦点〉	新星風理論の新しい展開	加藤万里子 159
<b>EUREKA</b> 〈研究紹介〉	超新星残骸と分子雲との相互作用 — 星の生と死の接点 —	瀬田益道 166
天球儀 〈読物〉	天文教育へ一つの試み (TIE 紹介)	澁谷英紀 174
天球儀 〈読物〉	藤田良雄先生と低温度星の分光学	辻 隆 182
シリーズ	《公開！ウチの研究室(16)》 大阪大学宇宙進化グループ	中平勝子 186
<b>ASTRO NEWS</b> 〈天文ニュース〉	ヒッパルコス衛星, 宇宙と球状星団の年齢の矛盾を解消か (?)	関口和寛 188
<b>IAU 総会来る！</b>	おいでやす京都へ —早割り登録メ切迫—	190
<b>書評</b>	理科年表 CD-ROM 版 (1997 年)	195
<b>寄贈図書リスト</b>		196
<b>月報だより</b>		196

### 表紙説明

米・ウィルソン山天文台に設置されている 24 インチ (61cm) 反射望遠鏡。

人類をはじめて月面に着陸させたアポロ計画実行にあたって、月面を詳細に調査するために使用された。現在、TIE プログラム用の専用望遠鏡として使われている。関西創価学園のコンピュータ教室で行われている天文授業の風景。授業は 24 台あるデスクの中央にあるディスプレイに画像を提示しながら進められる。生徒は 2 人で一台のディスプレイを見ている。(天球儀参照)